

平成28年度

租税教育実践発表資料



東松島市立矢本西小学校

教諭 及川 美恵

1 はじめに

税金とは、国の財政を賄う収入の最も主要なものであり、私たちが健康で心豊かに生活を送るために大切な役割を果たすお金である。私たちの生活は、教育、福祉、消防、警察などの公共サービスや、道路や橋などの公共事業によって支えられており、これらの費用のほとんどが税金で賄われている。しかしながら、現時点において、税金に関する児童の知識は曖昧で、自分たちの暮らしと税が密接な関係にあることに気付いていない児童が多い。

今回の租税教室では、「もし、税金が無くなればどうなるか」ということについて、自分たちの日常生活に置き換えて考えることにより、税の必要性を理解させていきたいと考えた。

2 児童の実態（男子14名、女子15名 計29名）

児童は、授業中は集中して話を聞き、落ちついた態度で学習に取り組んでいる。特に、6年生で始まった社会科の歴史分野についての学習を楽しみにしており、歴史上の人物や出来事について進んで調べようという意欲が高い。

今回、租税教育を行うにあたり、税金（税）について下記の内容でアンケート調査を実施した。
(平成28年6月16日実施)

- | |
|--|
| <p>1 「税」について思い浮かぶものはなんですか。（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none">・消費税（11）・税務署（5）・お金をとられること（4）・税込み（2）・税抜き価格（2）・税率（1）・律令（1）・増税（1）・みんなが払うもの（1） <p>2 税金の種類で知っているものを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・消費税（28）・関税（1）・所得税（1）・車の税（1） <p>3 税金はどこに納められていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・国や市（11）・銀行（7）・税務署（2）・学校（1） <p>4 税金は何に使われていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書（5）・国民のため（5）・オリンピック（3）・道路や橋の修理（2）・公務員の給料（2）・復興（1）・選挙（1）・国の施設の建設（1） <p>5 税金の使い道はどこで決めていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・国会議事堂（12）・国の偉い人たちの会議（3）・税務署（3）・総理大臣（1）・天皇（1）・知事（1） <p>6 税金についてくわしく知りたいことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・どうして消費税を上げるのか。（3）・なぜ税金があるのか。（2）・税金はどこに納められているのか。（1）・税金の種類にはどんなものがあるか。（2）・1年でどれくらい税金が入るのか。（1） <p>7 税金は必要だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・必要だと思う（16） <p><理由> 国のためだったら必要だから。困っている人を助けたいから。みんなの役に立つものをつくるためのお金だから。</p> |
|--|

- ・必要だと思わない（５）
- <理由>税金で困っているから。お金持ちがすべて払えばよいと思うから。
- ・分からない（８）

以上のような結果から、公民分野における税の学習は未習のため、関心が低く、知っていることと言えば「消費税」「税務署」「税込み」程度であること、また、歴史上の税に関する学習から、「税は取られるもの」「人の生活を苦しめるもの」といったマイナスのイメージが強いことが分かった。また、日常の生活の中で税を意識することはほとんどなく、税金は必要だとは思いますが、税金が自分たちの生活を支えていることを実感している児童はほとんどいなかった。

3 社会科との関連

(1) 日本の歴史

- 天皇中心の国づくり「大化の改新と天皇の力の広がり」「仏教の力で国を治める」
 - ・国を治めるためにどのような法律が作られ、物の流通があったかについて調べる。
(律令, 租・調・庸)
 - ・都のにぎわいとそれを支える地方の人々の暮らしについて調べる。
(重い税の負担)
- 3人の武将と天下統一「大阪城と豊臣秀吉」
 - ・豊臣秀吉は、天下統一をするために、どのようなことを行ったのか調べる。
(太閤検地)
- 江戸幕府と政治の安定「人々のくらしと身分」
 - ・家光を中心とする江戸幕府が、どのように百姓や町人などを支配したのかを調べる。
(年貢, 五公五民)
- 明治の国づくりを進めた人々「大久保利通と明治新政府の改革」
 - ・欧米に学んだ大久保利通らが、どのような国づくりを目指したのかを調べる。
(地租改正)

(2) わたしたちの生活と政治

- 子育て支援の願いを実現する政治「税金の働き」
 - ・子育て支援センターを建設、運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。
 - ・税金の集められ方と使われ方について調べる。
 - ・税金がなかったらどうなるのかを考え、税金の役割について話し合う。
- 震災復興の願いを実現する政治「災害復旧に向けた国の支援」
 - ・災害からの復旧・復興に向けた国の取組を調べる。(補正予算)

4 指導に当たって

指導に当たっては、以下のことに留意して学習を進めていきたい。

- 日本の歴史の中で「租・調・庸」「年貢」などの税が古くからあったことを想起させ、税に関する関心を高めるようにする。
- 外部講師による租税教室（出前授業）を実施することにより、税に対する興味や

関心を高め、身近な生活と税との関わりや税の必要性を理解させる。
 ○学習した内容を作文や絵はがきなどで表現し、税に対する理解と関心を深めさせるようにする。

5 指導計画（3時間扱い）

	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準
事前指導 (業前)	○「税に関するアンケート」を実施する。		
税について考えよう(1)	○外部講師による租税教室を通して、税が自分たちの生活に密接に関わっていることや税の必要性について理解する。 ○税がないとどうなるかまとめる。	・視聴覚教材(DVD)を活用することで税が自分たちの生活と密接に関わっていることや税の必要性などについて理解させる。	(知識・理解) 自分たちの生活と税の関わりについて理解している。
税について理解を深めよう(1)	○租税教室で学習した内容の確認を行い、自分たちの生活と関連させながら税と自分たちの生活が密接に関わっていることを理解する。	・小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」、国税庁「税の学習コーナー」を活用する。	(知識・理解) 自分たちの生活と税の関わりについて理解している。
税の大切さを伝えよう(1)	○税に関する絵はがきコンクールに向けての作品づくりを通して税の大切さについて考え表現する。	・自分なりの表現方法で作成させる。	(思考・判断・表現) 税の大切さを絵や標語等で表現している。



6 実践内容【租税教室】 実施期日：平成28年6月17日(金)

(1) 目標

自分たちの生活と税が密接に関わっていることを知り、税の必要性について理解する。

(2) 本時の展開

	学習活動・学習内容, 児童の反応(※)	指導上の留意点
導入	1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">自分たちの生活と税金の関わりを考えよう</div>	・外部講師を紹介する。
	2 外部講師から税に関する話をしていただく。	

<p>展 開</p>	<p>3 外部講師の説明を聞き、税金について考える。</p> <p>(1) 知っている税金を発表する。 ※消費税，車の税など。よく分からない。</p> <p>(2) 学校と税金の関わりを例に，身近な税金の使い道を理解する。 ※実験で使う顕微鏡4万2千円は，サラリーマンの1ヶ月のお小遣いより高い。 ※1年間の教育費，小学生約86万円。教育にお金がかかっているなんて知らなかった。</p> <p>(3) 税の歴史を知る。</p> <p>(4) 税金の種類について知る。 ※約50種類も税があるなんて思わなかった。</p> <p>(5) 世界の消費税について知る。 ※国により税率が違う。日本より高い国もあるんだ。 ※税率の高いデンマークでは，税を何に使っているのかな。</p> <p>(6) 税金の使われ方について知る。 ※学校を建てるのに約10億円もかかる。 ※一億円の量と重さを体感し，高額な金額に実感を持った。</p> <p>4 DVDを視聴し，税の必要性を考える。</p> <p>(1) DVD「マリンと不思議な日曜日」を視聴する。</p> <p>(2) もし，税金がなかったらどうなるかを考える。 ※税金がないと困る。(ゴミを収集してもらえない。消防活動が行われない。公園がない。など)</p>	<p>☆一億円のレプリカ</p>  <p>☆国税庁DVD「マリンと不思議な日曜日」</p> 
<p>ま と め</p>	<p>5 学習のまとめをする。 「税金は，みんなが力を合わせていい社会をつくるためにあるんだね。」</p> <p>6 次の予告をする。</p>	<p>・国税庁のHP「税の学習コーナー」で，税に関する理解を深めていくことを伝える。</p>

○児童の活動の様子

☆小学校社会科用学習資料「わたしたちの暮らしと税金」や，国税庁「税の学習コーナー」の活用



☆税に関する絵はがきコンクールへの作品（9月応募）



☆租税教室実施後の感想作文から（一部抜粋）

最初は「税金なんてなければ、お菓子やジュースがもっと安くなるのに」と思っていました。でも、税金がないと道路が造れなかったり、オリンピックができなくなったりすることが分かりました。

教えてもらう前は、消費税は多少必要かなということくらいしか考えていませんでした。しかし、学んだ後は、とても重要なものだと分かりました。疑問だった「どこにおさめられているのか」「どのような人が税を決めているのか」なども理解することができました。

DVDで見た「税金のない世界」では、救急車を呼ぶのにも、横断歩道を渡るのにもお金がかかっていて、税金がないと生活が困難になってしまうことがよく分かりました。

学校を造るには10億円もかかります。一部の人が出たら大変な金額になってしまいます。だから税金は必要だと思いました。これからは、学校や学校の物、公園などを大切にしたいと思いました。

今私たちは、税金があるおかげで不便なく暮らすことができます。大人になったら税金を払います。

自分や人々のために税金が必要なので、責任を持って税金を払うことが大切だということが分かりました。これからは物を買うときに「高い」とか言わないで、「私たちの安全のためなら安いよ」と思えるような人になりたいです。

○まとめ（実践を終えて）

- ・租税教室を実施した時期が6月半ばということもあり，社会科における税の学習は未習であった。しかし，「租・調・庸」や「年貢」などが，今なぜ税金というお金で集めるようになったのかなど，税の歴史をたどることで，時代ごとの税に対する興味関心を高めることができた。
- ・外部講師の話聞くことで，税に関する専門的知識を得ることができ，税の必要性を強く意識させることができた。
- ・学校と税金という自分たちの身近なテーマで考えることにより，税に関して分かりやすく考えさせることができた。
- ・世界の消費税率や税の種類を知ることで，世界諸国の社会のしくみや文化の違いなどについて興味関心を高めることができた。
- ・視聴覚教材は，「税金がなくなったら，どんな生活になるのか」を考えさせる効果的な内容であり，納税の義務を意識するものとなった。
- ・税の大切さを理解することで，公共施設などの税で賄われているものについて，大切にしようという意識が高くなった。また，将来は自分が納税者として国民の義務を果たしていこうという思いを持つようになった。
- ・租税教室の後にも，小学校社会科用学習資料「わたしたちのくらしと税金」や，国税庁のHP「税の学習コーナー」を活用することで，税に関する学習を深めることができた。

○最後に

今回租税教室を行うことで，「税は人々を苦しめるもの」というマイナスのイメージから「みんなの生活を支える大切なもの」というように意識が変わった。税に関しては今回の授業で終わりにするのではなく，今後も社会や政治の動向に目を向けさせながら，税を通して社会や国の在り方について考えさせていきたい。そのことによって，社会的義務や責任を果たそうとする大人に成長していくものと願っている。

最後に，児童と共にこのような貴重な学習の機会をいただけたことに感謝したい。